

奄美大島の中央を通る三太郎峠の山岳路は以前、島の北と南を結ぶ幹線道路だったが、1989 年のトンネル開通により、距離と時間が大幅に短縮され、今ではかつての道が自然に戻りつつある。現在は奄美の野生動物を多く観測できる夜に観光客が訪れる。アマミノクロウサギ等の哺乳類、アマミヤマシギ等の鳥類、大型のオットンガエル等の両生類やホタルなど多くの固有動物が見られる。森の全生物や奄美の人々から恐れられている毒蛇のハブも見られる可能性がある。

夜間の三太郎峠で野生動物観察をする場合：

- ・インターネットで事前予約。
- ・夜の野生動物の生体をよく知るローカルガイドの利用を推奨。
- ・速度は時速 10km ほどで、野生動物を怪我させないように走行。
- ・動物から距離を置くこと。
- ・ペットを連れこまないこと。
- ・手持ちライトは車 1 台につき 1 本のみ。
- ・接近する車や追いつかれた車には左ウィンカーで追い越しが安全だと合図する。
- ・左ウィンカーを出していない前方の車や接近する車を追い抜いたりしない。
- ・対向車が来たときはハイビームをやめる。
- ・すれ違い時には上りが優先とされ、下りの車は左により、ライトを消し、対向車が過ぎるのを待つ。